

設 立 趣 旨 書

1.趣旨

現代の子育ては孤独との戦いです。親子を取り巻く社会は、少子高齢化の進行、女性就業率の上昇、児童虐待の増加など変化は激しく複雑化するばかりです。ICTが進化して現代は便利になったようで、人と人のつながりは途切れやすく、「ワンオペ」といわれるように親一人で子育ても家事も仕事も引き受けている場合も少なくありません。何事も親の責任を問われる時代でもあります。子どもを産めば誰もが一人前に親になり、何もかも親がやって当然という世の自己責任の風潮は根強く、親自身の「育ち」「不全感」「孤独」に対する支援は不足しています。当たり前のようにしている子育てを、自分だけが「できない」「つらい」と声に出すことは勇気のいることです。特に、発達障がいをもつ子どもや支援につながりにくいいわゆるグレーゾーンといわれる子どもの養育は、さらに親の心身への負担が大きいことがわかっています。

このように、支援につながる事が難しい家庭、うまくSOSを出せないギリギリな状態にある家庭に対して、私たちは、どうしたら手を差し伸べることができるでしょうか。本来支援が必要な家庭に適切な支援が届けられていない現状を変えなければ、親は子どもを安心して育てることができません。子どもの主体的な育ちを保障することと同等に、親も誰かに支えられることが必要です。また、「必要性があっても上手にSOSを出せない人」に対しては、こちらがいかにかアプローチしていけるかが課題です。そこで、親子を支えるための身近で気軽に利用できる相談・交流・学びの場の提供、虐待を予防し親のメンタルヘルスを支えるアウトリーチ型の伴走型支援、子育てや発達障がい等に関する知識の普及や啓発、政策提言が必要です。

私たちは、親と地域社会が子育てを担うチームとなり、安心して子どもを産み育てることが当たり前となる社会を実現していきたいと考えています。そして、このような社会課題の解決を行うに当たっては、様々な契約行為の発生、社会的信用を高めるために、法人格が必須となります。公益を目的としたNPOを設立し、先駆性、柔軟性、当事者性、専門性等の機能を発揮し、多くの市民の方々や関係機関との連携・協働により、子育て支援を通じた社会課題の解決に向けて邁進していこうと決心しました。

2.申請に至るまでの経過

黒川駿哉氏の呼びかけにより専門職集団による任意団体「COROBO project」設立。

「大丈夫、一緒に転ぼう」をコンセプトに、コミュニケーションや対人関係スキルに苦手さを持つ子どもとその保護者へ「PEERS®byUCLA」プログラムをオンラインで実施。

1タームにつき連続14週のセッションを3期にわたり実施してきた。以下、その期間を示す。

2021年12月11日～2022年3月26日<第1期>

2022年6月25日～2022年10月8日<第2期>

2022年9月10日～2022年12月17日<第3期>

2023年3月「COROBO project」に参加した宮島篤子の呼びかけにより、子育て支援を軸とした新たなプロジェクト発案。賛同した専門職が集まり法人化検討。

2023年5月9日20時30分<第1回>発起人会を開催

2023年5月13日20時30分<第2回>発起人会を開催

2023年5月16日21時より設立総会を開催。設立の趣旨、定款、事業計画及び活動予算、設立

当初の役員などの原案について審議。上記原案について提案があり、審議の結果決定。

2023年 5月 17日

NPO 法人 Chou・c h o u

設立代表者 住所又は居所

[illegible]

氏名 宮島 篤子